

## 事業活動報告

事業所名 第二かめおか作業所

1.2016年度 事業所方針
①一人ひとりが『自分らしく働く』実感の持てる場面づくりや環境整備をめざします。 ②『みんなと一緒に！つながる！』を大切にする集団づくりをめざします ③利用者の生活・健康を守る取り組みを進めます。 ④集団的に考えあい行動できる質の高い職員集団を目指します。 ⑤ビジョン2018を具体化していく為に学びあいます。
2.利用者・職員状況について
○利用者数：36人（定員35人） ・毎日利用：31人 ・週1～4日利用：障害事業所併用4人、高齢事業所併用1人 ※16/3/4 男性死去（73歳11ヵ月） ○職員数：16人（正規6人、非正規10人） ・所長1、主任1、支援員11、調理員2、運転手1
3.実践内容について
<作業グループ> ・リサイクルグループ（資源回収・処理作業） ・さわさわグループ（よもぎ湯の素、竹炭製品づくり等） <実践内容> ・障害の重いひとたちが「自分らしく働く」ことについては、いっそう生き生きとできる働く環境づくり（整備）に重点を置いて実践を進めてきました。高齢化、重度化による心身の動きづらさが増す人たちにはいつもと同じ顔、材料など安心できる集団を大切にして取り組む仕事を、また一方で集団が苦手な人たちには、個別に好きな場所、スタイル、人など作業室にこだわらないお気に入りの居場所で取り組む仕事を大切にしてきました。 ・働くことのみではない生活の仕方を模索し始めた高齢メンバーには、障害分野、高齢分野の相談支援事業所とも連携を図りながら納得のいく生活を大切にしてきました。 ・「もっと違う仕事に挑戦してみたい」思いの実現のため、ステップアップ実習の機会を保障してきました（法人内他事業所で1年間数機会）。
4.成果と次年度への課題について
・高齢化、重度化が年々深刻になってきています。今年度、支援学校新卒者1人を受け入れましたが、年齢幅や障害種別も含めて支援のあり方についてはいっそう個々に合った実践の工夫が必要になってきました。職員集団での学びや議論の機会を丁寧に持ち、実践の質を高めていく必要があります。また高齢期を迎えたひとたちの働き方や生活のありようについては、その時を迎えてからではなく、将来を描くことのできる働きかけの中で本人の思いを少しずつ取り、本人と一緒にプランを組み立てていくことも必要です。 ・ビジョン2018の具体化を図るための、内部協議、関係外部との協議を充実させることが必要です。